

令和7年度

まちの予算

■問合せ 企画財政課財政係 (☎74-3004)

令和7年度当初予算は、第2期洞爺湖町まちづくり総合計画に掲げるまちの将来像の実現に向けて、これまで積み重ねてきた取組の成果を検証しながら「子育て支援の充実」、「教育環境の充実」、「生活基盤の整備」、「公

共施設の長寿命化」、「各種産業の振興」などを重点施策とし、「子どもから高齢者まで誰もが幸せを感じる町づくり」を基本理念に予算を編成しました。

これにより、一般会計、特別会計、公営企業会計を含めた全会計予算総額は、令和6年度当初予算と比較し、6億1526万円、5.0%増額の128億7729万円となりました。

■一般会計

一般会計予算の総額は82億9400万円で、前年度比4億1200万円、5.2%の増額となりました。

歳入は、令和6年度決算見込みにより固定資産税などにおいて増額とし、町税全体で前年度比1516万円、1.3%の増額、地方交付税は国の地方財政計画による一般財源総額の伸び率などを勘案

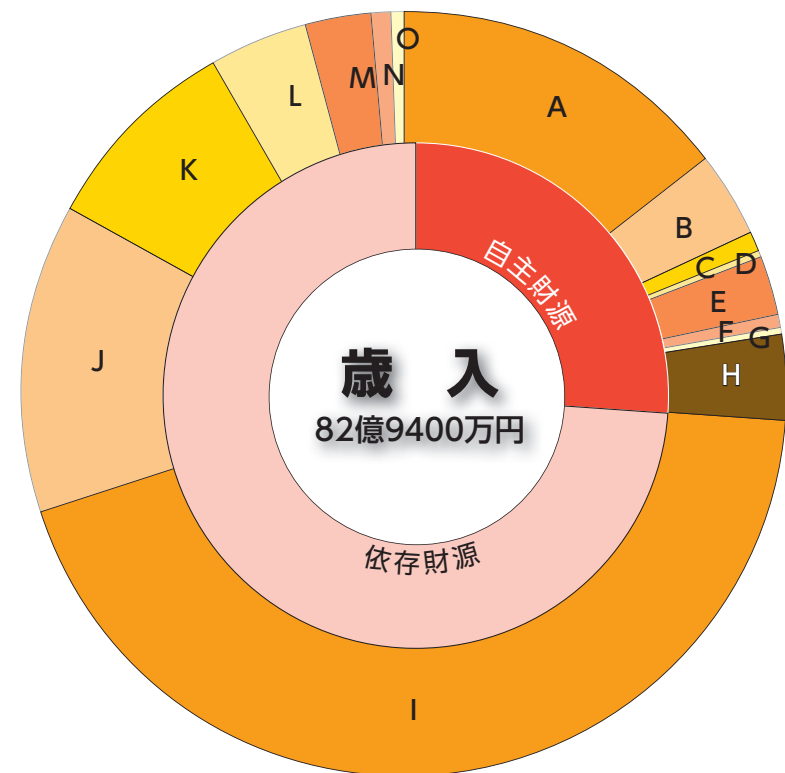
し、前年度比1億3000万円、3.7%の増額を見込みました。

国庫支出金では、主に自治体情報システムの標準化に係るデジタル基盤改革支援補助金などの増額により、前年度比2億3713万円、48.4%増額、寄付金は、ふるさと納税寄付金の増額を見込み、前年度比1995万円、7.3%の増額で計上しました。

なお、厳しい財政状況のため、歳入不足を補うため財政調整基金(町の貯金)の取り崩しを見込み、予算編成を行いました。

主な投資的事業としては、虻田中学校の移転に係る学校改修事業などの新規事業のほか、(仮称)あぶた保育所複合施設建設事業、小中学校空調設備整備事業など昨年度からの継続事業を中心に計上しました。

子育て支援については、子どもを安心して生み育てられる環境整備の充実を目的に、出産祝金の支給、保育所保育料の完全無償化、子ども医療費(高校生以下)無料化などを引き続き計上しました。



(単位：万円、全体に占める割合：%)

A	町税	12億1630(14.7%)
B	繰入金	3億69(3.6%)
C	諸収入	5818(0.7%)
D	繰越金	2000(0.2%)
E	使用料・手数料	2億371(2.5%)
F	分担金・負担金	6388(0.8%)
G	財産収入	2580(0.3%)
H	寄附金	2億9215(3.5%)
I	地方交付税	36億3000(43.8%)
J	町債	10億8230(13.0%)
K	国庫支出金	7億2728(8.8%)
L	道支出金	3億3431(4.0%)
M	地方消費税交付金	2億3000(2.8%)
N	地方譲与税	7250(0.9%)
O	その他	3690(0.4%)
	自主財源	21億8071(26.3%)
	依存財源	61億1329(73.7%)

■特別会計

国民健康保険特別会計は、事業費納付金などの減少に伴い前年度比1788万円、1.5%の減額。

介護保険特別会計は、職員人件費などの増加に伴い前年度比179万円、0.1%の増額。

後期高齢者医療特別会計は、後期高齢者医療広域連合納付金が増額となり、前年度比293万円、1.5%の増額。

3つの特別会計を合わせた予算総額は27億351万円となり、前年度から0.5%の減額となりました。

■公営企業会計

水道事業会計は、施設等修繕の減少などにより、収益的収支が前年度比1767万円減、5.7%の減額。

資本的支出は、建設改良費の増加により前年度比8210万円、42.4%の増額となりました。

簡易水道事業会計は、メーター取替工事等の増加によ

り、収益的収支が前年度比145万円、1.6%の増額。

資本的支出は、建設改良費の増加により、前年度比3202万円、43.7%の増額となりました。

公共下水道事業会計は、減価却費等の増加などによ

り、収益的収支が前年度比8555万円、14.4%の増額。

資本的支出は、建設改良費の増加により、前年度比3297万円、8.2%の増額となりました。

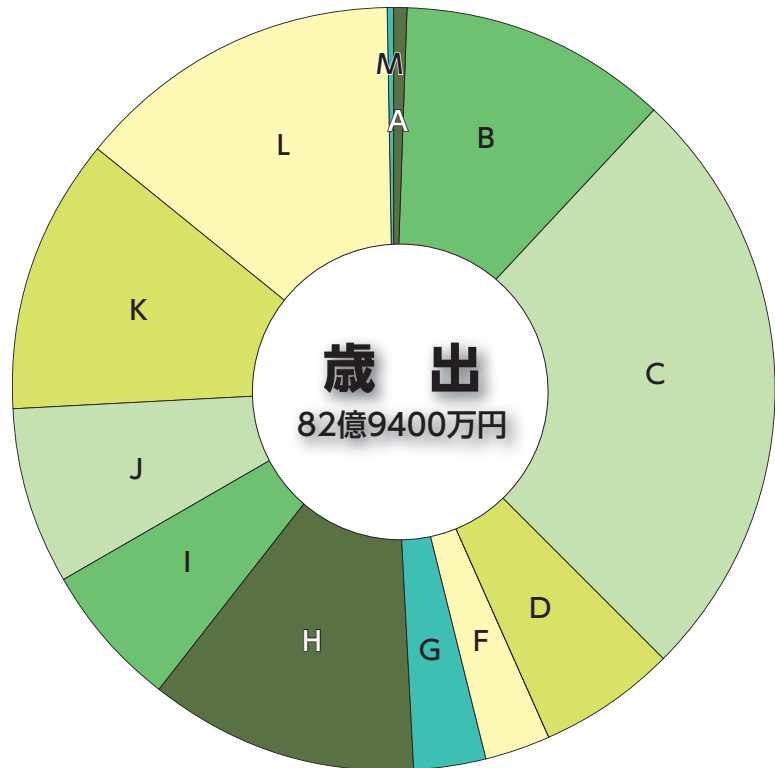
令和7年度会計別予算額

(単位：万円、%)

会計名	令和7年度 予算額	令和6年度 予算額	増減額	増減率
一般会計	82億9400	78億8200	4億1200	5.2
特別会計	27億351	27億1667	△1316	△0.5
国民健康保険	12億70	12億1858	△1788	△1.5
介護保険	13億150	12億9971	179	0.1
後期高齢者医療	2億131	1億9838	293	1.5
水道事業会計	収益的収支 2億9421	3億1188	△1767	△5.7
	資本的支出 2億7559	1億9349	8210	42.4
簡易水道事業 会計	収益的収支 8962	8817	145	1.6
	資本的支出 1億537	7335	3202	43.7
公共下水道 事業会計	収益的収支 6億7898	5億9343	8555	14.4
	資本的支出 4億3601	4億304	3297	8.2
合計	128億7729	122億6203	6億1526	5.0

(単位：万円、全体に占める割合：%)

A	議会費	5906(0.7%)
B	総務費	9億3566(11.3%)
C	民生費	21億3497(25.7%)
D	衛生費	4億8197(5.8%)
E	労働費	370(0.0%)
F	農林水産業費	2億2253(2.7%)
G	商工費	2億4080(2.9%)
H	土木費	9億5470(11.5%)
I	消防費	5億601(6.1%)
J	教育費	6億2570(7.5%)
K	公債費	9億7454(11.7%)
L	給与費	11億3436(13.7%)
M	予備費	2000(0.2%)





洞爺湖町

令和7年度の主な事業

令和7年度の町の予算は、子ども・子育て支援や教育環境の整備、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進など「未来への投資」に予算を配分しました。地域通貨「とうやコイン」の普及や、官民学の連携を通じて新たな考え方やノウハウを導入して各種事業を推進するなど地域力の強化に力を入れていきます。



「書かない窓口」導入事業 943万円

役場窓口で申請書などを書く際の負担を軽減するため、デジタル技術を活用した「書かない窓口」を設置します。



デジタル地域通貨(とうやコイン) 運営事業 671万円

地域通貨「とうやコイン」の普及を進め、住民の利便性向上と地域の活性化を図ります(関連記事3頁)

地域活性化企業人派遣事業 1437万円

官民学の連携を深め、新たなアイデアやノウハウを取り入れ、各種事業を進めることで地域力をさらに強化します。



(仮称)あぶた保育所新築事業 3億744万円

保育所機能に加え、就学前の子どもや保護者が気軽に交流できる施設として、令和7年度から工事に着手します。子育ての孤立感や負担感を軽減できる場を目指します(関連記事4、5頁)

町営住宅維持管理・修繕 2億9787万円

町営住宅の改修工事を実施するとともに、町営住宅と定住促進住宅などの適切な維持管理を行います。また、昨年度から開始したみなし特定公共賃貸住宅を引き続き活用します。



一般会計の主な事業

▶子育て支援

子ども医療費助成事業（高校生以下の医療費無料化）	1370万円
出産祝い金	324万円
子どもインフルエンザワクチン接種事業	204万円
保育料無償化事業	385万円
中学校制服等購入費助成事業	261万円
高校生通学費等助成事業	680万円

▶生活基盤の整備

道路等環境整備事業	9800万円
橋梁長寿命化計画に基づく修繕工事	3750万円

▶地域のにぎわい創出

産業振興

多面的機能支払事業補助	2353万円
虻田漁港整備事業	1837万円
ホタテ養殖設備導入事業	2751万円

商工振興

住宅リフォーム支援事業	800万円
新型コロナウイルス対応融資利子補給事業補助	450万円

観光振興

友好都市三豊市50周年記念事業補助	308万円
にぎわい広場イルミネーショントンネル事業	400万円

▶定住促進

地域おこし協力隊活動事業	2779万円
チャレンジショップ支援事業	374万円
住まいる中古住宅取得支援事業	250万円

▶教育環境の充実

A Iドリル導入事業	310万円
小中学校空調設備設置事業	1億3447万円
虻田中学校移転に係る学校改修事業	2772万円
小中学校教育用タブレット更新事業	2035万円

▶上記以外の主な事業

とうやコネクタクシー運行事業	2068万円
保育所ICTシステム整備事業	581万円
洞爺湖温泉中央集会所等解体事業	1億2183万円
西いぶり消防指令センター整備事業	1億5673万円

地方債（借金）の残高

	令和5年度	令和6年度 (見込)	令和7年度 (見込)
一般会計	84億3211	85億7454	87億3395
水道事業会計	9億8764	10億9230	11億2614
簡易水道事業会計	3億7022	3億7362	4億3682
公共下水道事業会計	17億8373	17億8299	17億5163
合計	115億7370	118億2345	120億4884

基金（貯金）の残高

	令和5年度	令和6年度 (見込)	令和7年度 (見込)
財政調整基金	12億1668	12億1773	11億1072
減債基金	1億6955	1億9327	1億9378
特定目的基金	16億7437	17億1212	17億6222
合計	30億6060	31億2312	30億6672

用語解説

一般会計

町の会計の中心となるのが一般会計です。行政運営の基本となる経費の全てを計上したもので、町行政の目的を達成するために必要な経費を経理する会計です。行政サービスのほとんどが一般会計で賄われています。

特別会計

特別会計は、町が特定の事業を行う場合その他特定の収入を特定の支出に充て一般の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合など、一般会計と分けて町が条例で設置することができる会計のことを言います。洞爺湖町には、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の3つの特別会計があります。

企業会計

企業会計は、独立採算性を原則とする、一般的には、株式会社などの民間企業での会計をいうもので、民間企業に近い事業を行う場合に設置される会計で水道事業、簡易水道事業、公共下水道事業がこれに該当します。